

青汁事業の知見生かし

就労支援で六次産業模索

サードチャレンジ(山口県下関市山の田東町)は10月1日、役員改選と今後の事業展望を発表した。

同社は、障がい者が地域を支える存在になる社会の実現を目指し20年に設立。弁当製造販売「しあわせ弁当」の運営、百貨店での出店で

サードチャレンジ



ヨイスジャパン商品(美腸活青汁、麻辣マニア、ごぼう茶)をはじめ、加工食品等のセットアップ業務を受注している。

新社長に就任

した勝島慈郎氏

写真Ⅱは、九州こだわりファーム社長も兼務している。青汁製品で原料生産、製造、販売

生かし、サードチャレンジとのシナジーを図る構えだ。今後は農業分野でのネットワークを活用して地元農業との連携を構築するとともに、付加価値化したオリジナル製品の開発、販売にも着手していく。

勝島社長は山の田ベ

スで催された会見で「7年前から人工透析をしており私自身も障がい者の一人。それだけに利用者およびご家族の気持ちがかかる」と述べ、「社会

認知度を広げてきた。現在B型就労継続支援事

業所として、利用者(36人)の就業支援業務、チ

功させた前職での経歴を

全般で自動化が進む中、安定した事業基盤を維持

10月1日、新社長に就任

サードチャレンジ

勝島 慈郎 社長

障害者就労支援B型事業所「サードチャレンジteam（チーム）下関」の運営を行うサードチャレンジ（本社山口県）の新社長に10月1日、九州こだわりファーム（本社山口県）の社長を務める勝島慈郎氏が就任した。同社では、障害者が「地域を支える存在になる」社会の実現を目指しているという。こうした目的の達成に向け、取り組む仕事の幅を大きく広げていきたいとしている。勝島新社長に話を聞いた。

——新社長就任の経緯について聞きたい。

私は長年にわたって青汁を中心とした食品事業に従事してきた。19年に設立した九州こだわりファームでも、青汁の販売を主に行ってきた。

一方、サードチャレンジは20年の設立。障害者の就労支援に取り組んできた。サードチャレンジの社長に私が就任することとなった。九州こだわりファームの運営などの中で培ってきた、商品開発・販売のノウハウと人脈を、サードチャレンジに注入し、事業全体の収益性を高めるのが狙いだ。

農業と福祉絡め新たな展開を構想

——勝島社長自身の障害者に対する思いを聞きたい。

私は2018年から透析を受けており、私自身が1級の身体障害者だ。だからこそ、障害者の気持ちは、他の人よりもよく分かる。障害者は、差別にさらされることまでは言わないものの、職業選択の幅が狭くなりがちだ。今までと違った方法で、障害者の可能性を広げていきたいという強い思いを持っている。事業全体の収益性を高めるこ

とにより、利用者の生産活動に対して支払う工賃をどんどん高めていきたいと思っている。

——障害者就労支援B型事業所である「サードチャレンジteam下関」の現状について聞きたい。

現在は、36人の利用者がおり、地域の中でも大型の部類の事業所となっている。25年8月期の売上高は5450万円だった。

現在の主力事業は、商品のセッティングの受託だ。さまざまな企業から

企業の自動化の進展などに伴い、セッティングの仕事は減っていくと見ている。そのため、独自の商品開発などを含め、創造的な展開を進めていく必要があると考えている。

私は、農業の六次産業化ということで、農業法人の設立を行った経験もある。青汁の製造・販売にも長年にわたって従事してきた。

こうした経験を生かし、サードチャレンジで、農業と福祉を絡めた新たな展開を行っていけない

た青汁原料を栽培し、独自に商品化するといったことも視野に入れていく。世界的なブームとなっている抹茶の有機製品の製造に取り組んでいくというアイデアもある。

サードチャレンジの製造した製品のブランド化も推進していく。障害者と地域と企業が三位一体となり作った製品であることが分かるよう、独自の「3peace（スリーピース）」マークを商品に付ける取り組みも行っている。

サードチャレンジでセ

「マニア」の販売などにも積極的に取り組んでいきたいと考えている。

——商品のセッティング中心の事業展開から、事業の幅を大きく広げていきたいということか。

その通りだ。創造的な展開で、事業の付加価値を高めていきたい。成功している先行事例があれば勉強していきたい。

これまで障害者は、「地域に支えられる存在」と捉えられることが多かった。当社では、障害者が「地域を支える存在になる」社会の実現を目指



1951年12月15日山口県生まれ。74年、神奈川大学経済学科卒業。75年、ホラヤ入社。79年、勝島商会で損害保険代理店業を営む。84年、新日配薬品に入社。新規事業部を立ち上げ、食品事業部で青汁販売を開始。常務取締役、専務取締役などを経て2017年10月、新日配薬品を退社。19年3月、九州こだわりファームを設立し社長に就任。オンガネジャパンと顧問契約。22年、オンガネジャパンの顧問契約を解消。25年6月、チョイスグループに参加。25年10月1日から現職。

している。

「自分たちの商品を企画し、自分たちで作り、自ら販売する」ことを通じて、利用者の工賃向上と、喜びの創造を目指していく。

「これしかやらない」といった、狭い考え方で、こうした大きな目的を達成できない。顧客企業から「こんなことはできないか？」といった積極的な提案をいただければ、実現に向けて最大限の努力をしていきたいと考えている。

お仕事をいただいている。例えば、サードチャレンジで、大麦若葉やケールといった

かと構想している。例え、サードチャレンジで、大麦若葉やケールといった

お仕事をいただいている。例えば、サードチャレンジで、大麦若葉やケールといった